

2023年度第2四半期
決算説明資料

神 鋼 商 事 株式
会 社

証券コード：8075

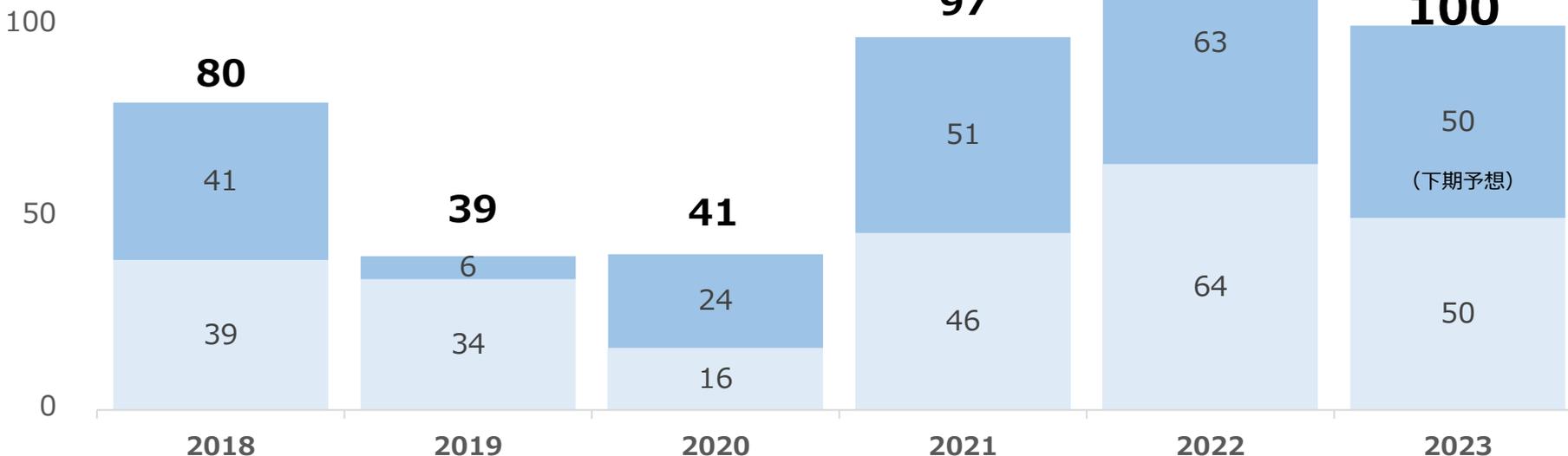
本資料のサマリー

業績概要

- 2023年度第2四半期の経常利益は50億円
- 自動車分野の落ち込みや半導体分野向けの需要低迷、販売管理費の増加により前年同期比▲14億円の減益
- 2023年度通期の経常利益は100億円を見込む（2023年5月発表時より変更なし）
- 中間配当を120円から125円に修正し、年間配当は250円（当初245円）を見込む

経常利益推移

(単位：億円)



■ 上期
■ 下期(予想値含む)

1. 2023.2Q 業績概要
2. 通期業績予想
3. 中期経営計画進捗状況
4. Topics
5. 参考資料

2023年度 2Q 連結損益計算書

- 売上高は鋼材価格の上昇により、前年同期比+8億円の微増
- 経常利益は50億円、前年同期比▲14億円の減益
自動車分野向けや半導体分野向け需要の減少、および販売管理費の増加等により減益

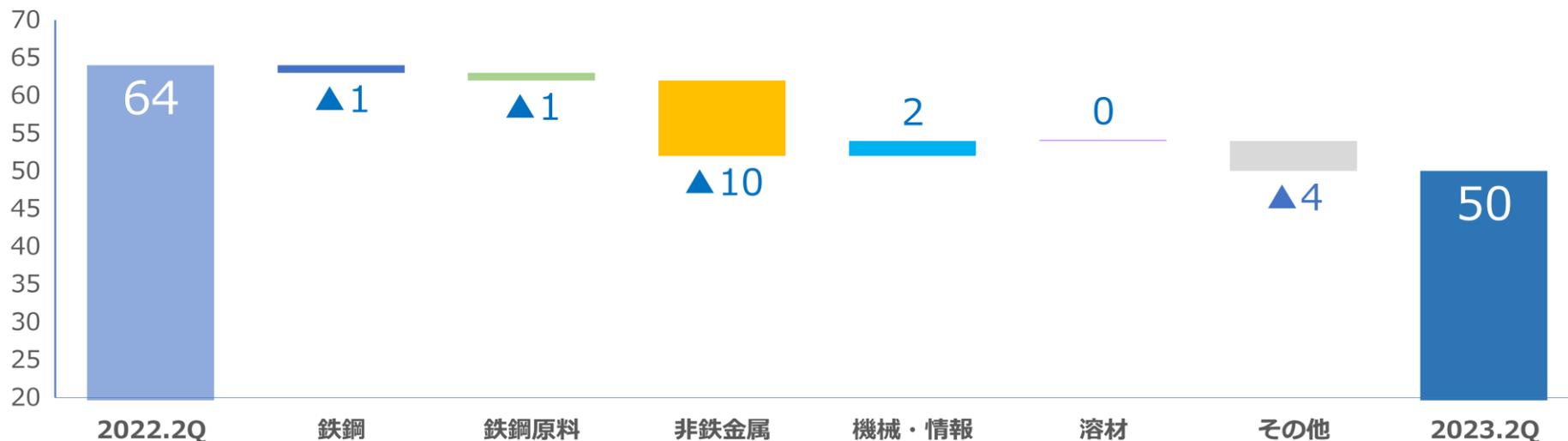
(単位：億円)

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減額	増減率(%)
売上高	2,786	2,794	+8	+0.3%
売上総利益	187	188	+1	+0.6%
販売管理費	▲122	▲128	▲5	-
営業利益	64	60	▲4	▲6.5%
経常利益	64	50	▲14	▲21.5%
当期純利益	44	37	▲7	▲16.2%
配当金(円)	150	当初予想 120円 125	▲25	-

2023年度 2Q セグメント別経常利益増減

(単位：億円)

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減額	増減率(%)
鉄 鋼	28	27	▲1	▲2.0%
鉄 鋼 原 料	7	6	▲1	▲12.9%
非 鉄 金 属	15	5	▲10	▲65.2%
機 械 ・ 情 報	6	8	+2	+29.2%
溶 材	4	3	▲0	▲11.6%
そ の 他	4	0	▲4	-
合 計	64	50	▲14	▲21.5%

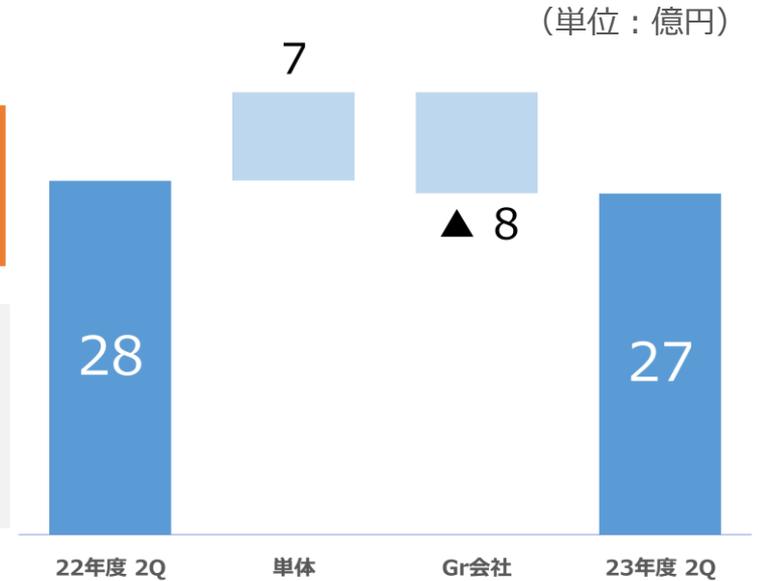


2023年度 2Q セグメント別経常利益増減 (詳細)

鉄 鋼

年度	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
経常利益	28	27	▲1

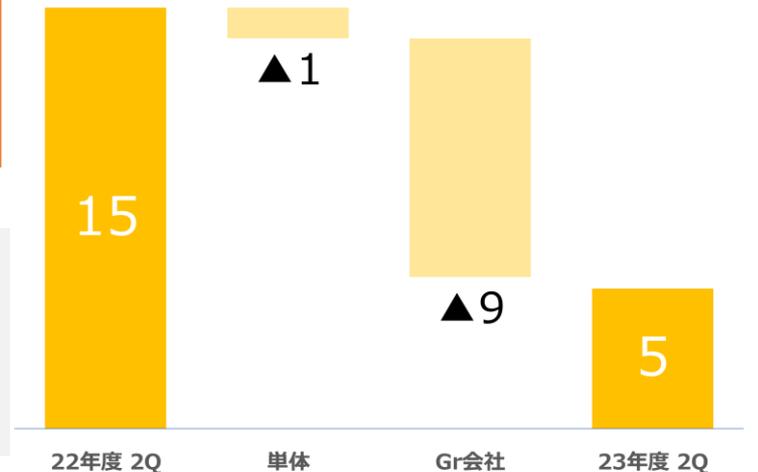
- 単体は取扱数量は横ばいも、鋼材価格上昇により、**増益**
- Gr会社は、主に米国子会社の金利上昇による金融収益悪化影響等により**減益**



非鉄金属

年度	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
経常利益	15	5	▲10

- 単体は、伸銅品やアルミ製品の取扱量減少等の影響により**減益**
- Gr会社は、主に中国のアルミ板材加工会社の自動車分野向けの取扱数量減少等により**減益**



2023年度 2Q セグメント別経常利益増減（詳細）

鉄鋼原料

(単位：億円)

年度	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
経常利益	7	6	▲1

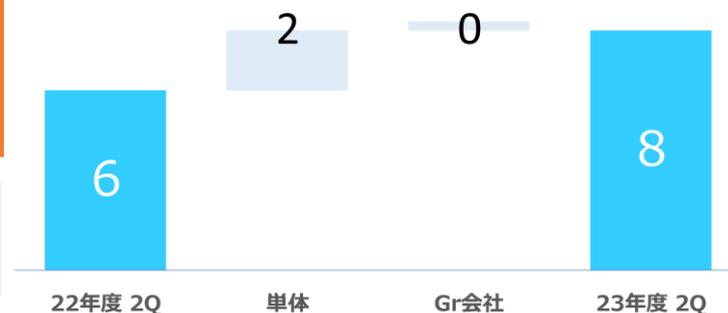
- バイオマス燃料の取扱数量増も、主原料価格の下落により減益



機械・情報

年度	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
経常利益	6	8	+2

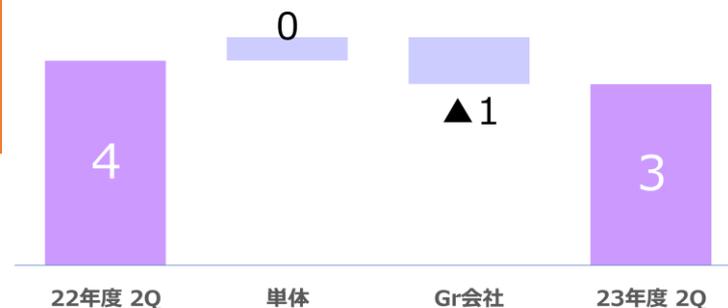
- 建機部品の取扱い増加や、電池関連材料の取扱い増加等により増益



溶材

年度	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減
経常利益	4	3	▲0

- 海外における自動車向け溶接材料の減少により減益



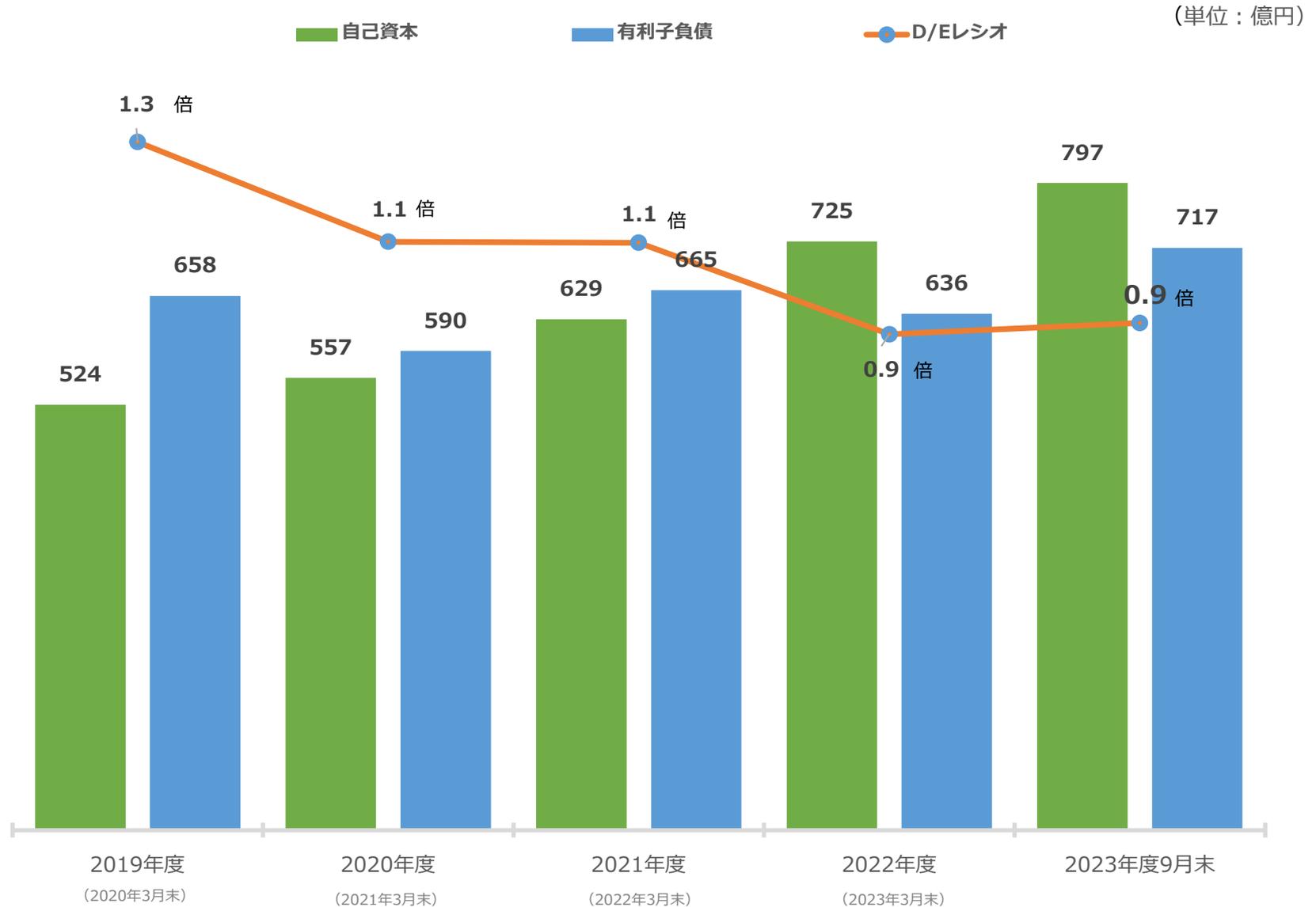
バランスシート状況

(単位：億円)

	2022年度 3月末 (2023.3末)	2023年度 9月末 (2023.9末)	増減額
流動資産	3,435	3,537	+102
固定資産	516	564	+48
有形・無形固定資産	101	106	+4
投資その他の資産	415	459	+44
資産合計	3,951	4,101	+150
流動負債	2,979	3,053	+74
固定負債	233	236	+2
負債合計	3,212	3,288	+76
自己資本	725	797	+73
非支配株主持分	14	15	+1
純資産	739	813	+74
外部有利子負債	636	717	+81
自己資本比率	18.3%	19.4%	+1.1%
D / E レシオ	0.9倍	0.9倍	+0.0倍
1株当たり純資産	8,235.1円	9,060.6円	
期末株価	5,800円	5,790円	

バランスシート状況（自己資本・外部有利子負債 推移）

● D/Eレシオ： 0.9倍（参考：ネットD/Eレシオ 0.7倍）



キャッシュフローの状況

(単位：億円)

	2022年度 2Q	2023年度 2Q	増減額
営業活動によるCF（営業CF）	+24	▲24	▲48
投資活動によるCF（投資CF）	▲14	+1	+15
フリーキャッシュフロー （営業CF+投資CF）	+10	▲23	▲33
財務活動によるCF（財務CF）	+42	+42	+1
総合キャッシュフロー （フリーキャッシュフロー+財務CF）	+52	+19	▲33
現金及び現金同等物の期末残高	214	152	-

2023年度 業績予想

- 鋼材価格等の市況価格は、22年度下期並みの水準が続くと予想
- 神鋼厚板ミルの改修等により、鋼材取扱量は減少見込み
- 半導体市場の需要低迷が見込まれること等から、減益見込み
- 販売管理費は、コロナ禍からの回復による営業活動の活発化等により増加
- 経常利益は、各セグメントでの変動はあるものの当初予想値の100億円を見込む
- 中間配当を120円から125円に修正し、年間配当は250円（当初予想245円）を見込む

(単位：億円)

【ご参考：22年度通期実績 vs 23年度通期予想】

	2023年度 2Q 実績	2023年度 通期予想	進捗率
売上高	2,794	6,520	42.9%
営業利益	60	108	55.6%
経常利益	50	100	50.0%
当期純利益	37	71	52.1%
1株当たり 当期純利益	422.02円	806.0円	-
配当金(円)	当初予想 120円 125円	当初予想 245円 250円	-

2022年度 実績	前年度比 増減額	前年度比 増減率
5,849	+671	+11.5%
135	▲27	▲19.8%
127	▲27	▲21.1%
92	▲21	▲22.8%
1,042.7円	▲236.7円	▲22.8%
315円	▲65円	-

- 非鉄金属セグメントは、国内での伸銅品やアルミ製品の取扱量の減少や、中国でのアルミ板材加工会社の取扱数量減少により、足元は低迷している
- 非鉄金属セグメントの落ち込みを、鉄鋼セグメントや機械・情報セグメントにてカバー
- 鉄鋼セグメントは国内自動車分野の緩やかな回復や、鋼材価格の高止まりにより超過見込み
- 機械・情報セグメントは産業機械や電池関連材料の取扱い増加により超過見込み

(単位：億円)

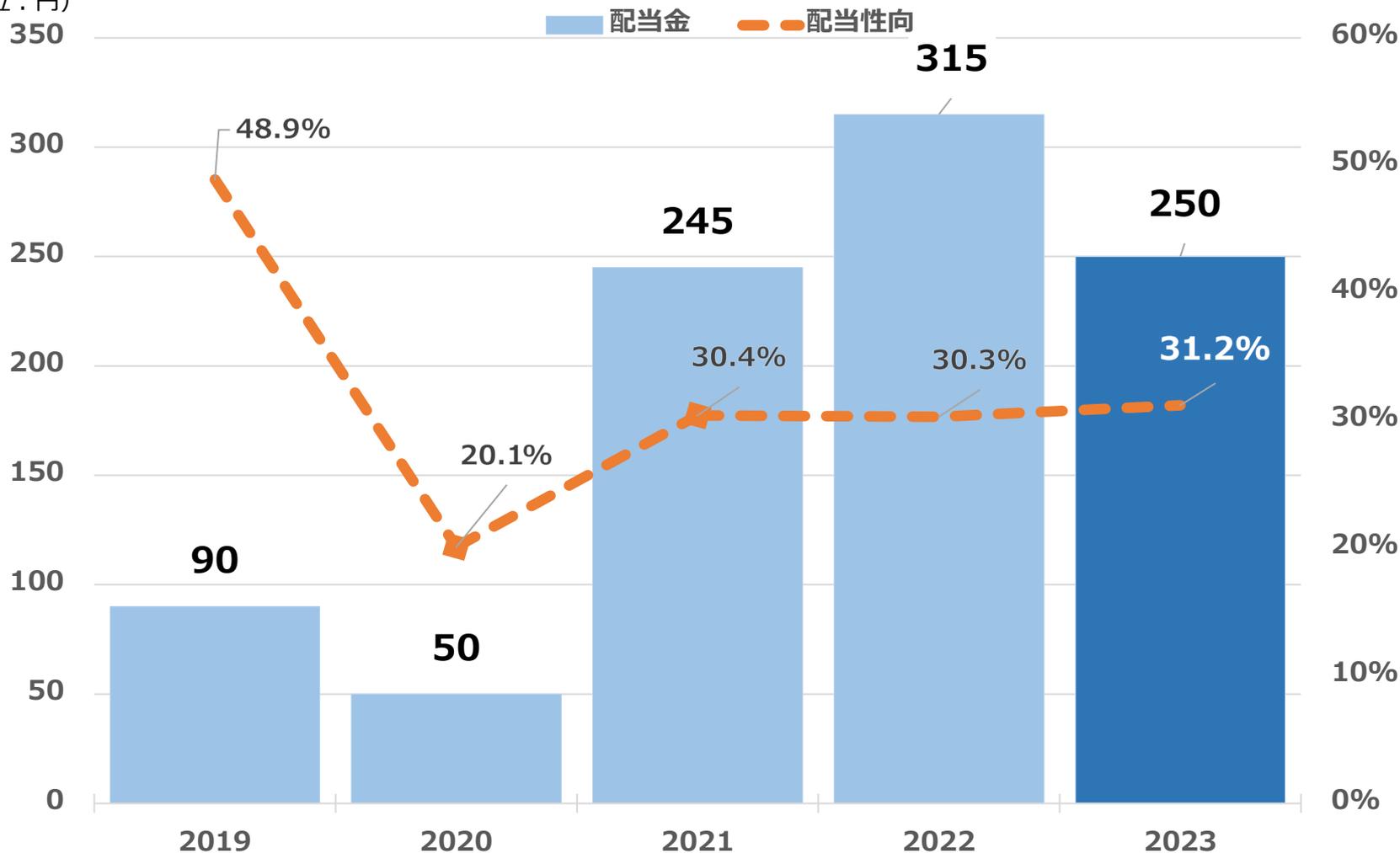
【ご参考：22年度通期実績 vs 23年度通期予想】

	2023年度 2Q実績	2023年度 当初 通期予想	進捗率	通期 見通し (対 当初予想)
鉄 鋼	27	44	61%	
鉄 鋼 原 料	6	15	40%	
非 鉄 金 属	5	22	23%	
機 械 ・ 情 報	8	13	62%	
溶 材	3	6	50%	
そ の 他	0	0	-	-
合 計	50	100	50%	

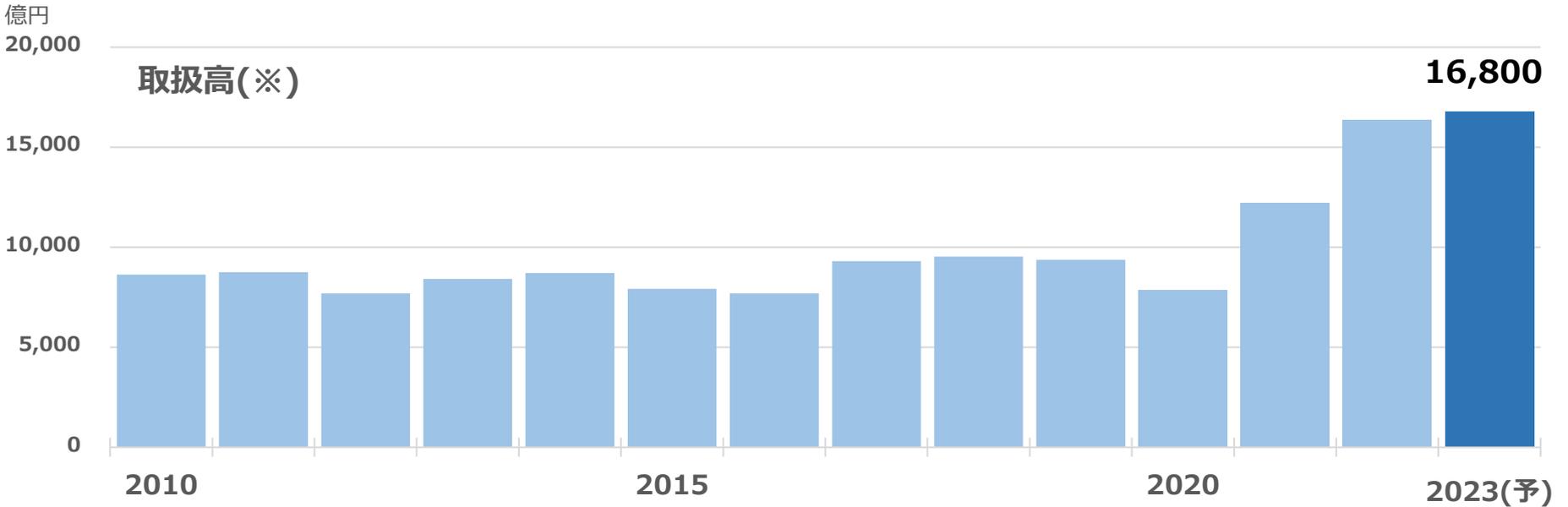
2022年度 実績	前年度比 増減額	前年度比 増減率
51	▲7	▲14.4%
15	0	+0.1%
27	▲5	▲17.8%
22	▲9	▲40.1%
8	▲2	▲25.4%
4	▲4	-
127	▲27	▲21.1%

- 中期経営計画にて目標配当性向を30%と設定
- 年間配当見通しを、245円から250円に上方修正
 (当初予想：中間120円、期末125円 → 修正後：中間**125**円、期末125円)

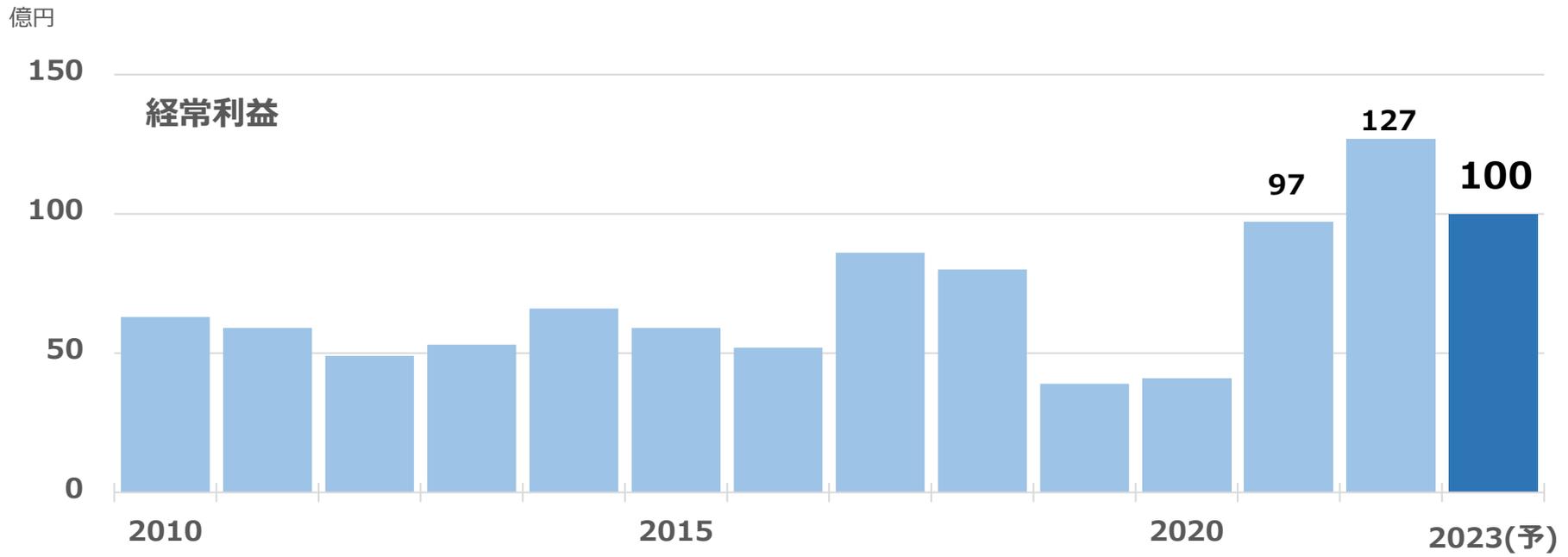
(単位：円)



取扱高・経常利益の推移



(※) 取扱高・・・「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用しなかった場合の売上高



	中計目標値	21年度 実績	22年度 実績	22年度達成度	23年度 予想
経常利益	23年度 95億円以上	97億円	127億円	達成	100億円
ROE	9%以上	12.0 %	13.6%	達成	9.5%
ROA	3%以上	3.0 %	3.3%	達成	2.4%
自己資本比率	20%以上	17.3 %	18.3%	未達	18.2%
D/Eレシオ	1.0倍程度	1.1 倍	0.9倍	達成	0.9倍

● 投融資の状況

	21年度実績	22年度実績	23年度見込	3か年合計
投融資	20億円	30億円	56億円	106億円
DX&IT投資	3か年合計 43億円			
合計	149億円 (中期計画策定時 投資規模 : 200億円)			

● 23年度の主な設備投資・投融資計画

非鉄/国内流通再編 : 稲垣商店 (本資料20Page参照)
建屋・設備増強 : ベトナム KTN Metal Vietnam (本資料20Page参照)
CHITOSE BIO EVOLUTION PTE.LTD.出資 (微細藻類) (本資料20Page参照)
北米設備投資 : 米国特殊鋼2次加工拠点
機械メーカー買収
基幹システム更新、機能改善等

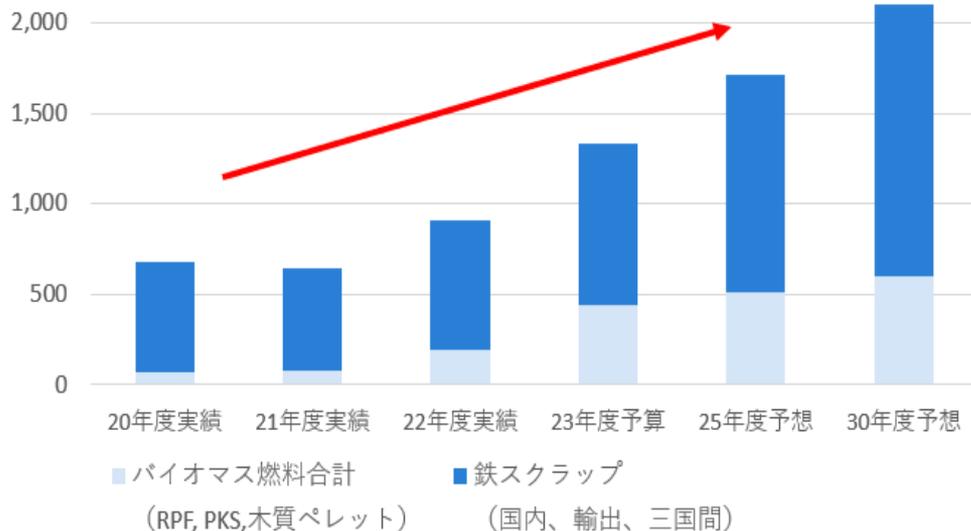
カテゴリ	セグメント	取組/製品	売上規模概算 (23年度)	説明
EV・自動車 軽量化	鉄鋼	純鉄系軟磁性材料	1.5億円	神戸製鋼製の優れた磁気特性を持つ鋼材（純鉄系軟磁性材料）を取扱い。電磁部品の制御機能向上、小型軽量化及び消費電力低減に貢献
	鉄鋼	アルミボルト	4億円	エンジン、トランスミッションに使用されるアルミボルト用のワイヤーを欧州向けに輸出版売。アルミは鉄の1/3程の重量の為、軽量化により航続距離伸長に貢献。
	非鉄金属	自動車アルミ板材	198億円	EVの成長が著しい中国において、EVの外板や、EV用バッテリーケース外枠材を蘇州神商金属にて加工、販売。
	機械情報	建機EV用 DCDCコンバーター	1億円	【建機用EV】EV搭載バッテリーの高電圧の電流を低電圧の電流に変換させる装置（DCDCコンバータ）を取扱い。
デジタル化	非鉄金属	半導体関連	360億円	半導体製造装置やパワー半導体用途にアルミや銅加工品を販売
資源循環型 ビジネス	鉄鋼	KOBEMAG® (神戸製鋼材料)	9億円	太陽光パネルを支える架台素材として神戸製鋼所の高耐食めっき鋼板KOBEMAG®を取扱い
	鉄鋼原料	バイオマス燃料	80億円	国内3ヶ所のバイオマス発電所と長期燃料供給契約締結し、バイオマス燃料供給を運用
	鉄鋼原料 非鉄金属	素材スクラップ	(冷鉄源)420億円 (非鉄)550億円	鉄やアルミなどの金属スクラップを回収し、鉄は国内外の電炉メーカー、アルミは国内の溶解炉メーカーに販売。資源循環型社会に貢献
	非鉄金属	自動車アルミ クローズドループ	5億円	自動車メーカーのアルミスクラップを仕入、当社協力工場にて破碎、選別し、圧延メーカーへ販売。圧延メーカーは再度自動車メーカーへ販売し、クローズドループを実現。
	機械情報	インバーター コンプレッサ 他	9億円	インバーターコンプレッサ、インバーター冷凍機、ヒートポンプ等を販売し、省エネによるコストダウン及びCO2削減に貢献
	機械情報	非石化燃料発電	10億円	バイオマス発電用タービンや発電用圧縮機の取り扱い
	機械情報	LNG関連	15億円	LNG輸送ポンプ部品や運搬船用電動機の販売等の取り扱い
	溶材	溶接材料スプール リサイクル	60万円	造船所で溶接に使用された溶接材料のスプール（溶接材料巻き台）を粉碎し、成形し直して再利用。水平リサイクルを実現

地球環境に配慮した製品の動向

当社はこれまでも鉄スクラップやRPF※、木屑等のリサイクル原料・燃料を取扱い、循環型社会に貢献してきました。さらにPKS（Palm Kernel Shell、パーム椰子殻）や木質ペレットといったバイオマス燃料の取り扱いを拡大させ、国の再生可能エネルギー政策にも寄与していきます。

※ RPF：Refuse derived paper and plastics densified Fuel の略称。
主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料

地球環境に配慮した製品の動き (千t)



リサイクル燃料
産業廃棄物を原料に固形化したRPF※を高品位燃料として国内メーカーのボイラー向けに供給しています。



バイオマス燃料
地球上のCO2を増やさない新たな電源として普及が進むバイオマス発電所向けに植物由来の燃料を供給しています。



鉄スクラップ
国内の電炉メーカーは勿論のこと、海外の電炉メーカーにも日本からの輸出や、三国間貿易でスクラップの販売を行っています

「統合報告書2023」を発刊いたしました
 当社の企業価値向上に向けた戦略や、非財務情報開示拡充に注力しております

統合報告書 2023



2023年10月4日発行

統合報告書 : https://www.shinsho.co.jp/ir/library/pdf/igr_2023_view.pdf

(画像をクリック頂くと統合報告書をご覧いただけます)

項目	内容
人権基本方針の制定	<p>ESG や人権に関する問題意識の高まりと企業の社会的責任を踏まえ、「神鋼商事グループ人権基本方針」を制定いたしました。事業活動の全てにおいて人権尊重に係る取り組みを推進していくことを全てのステークホルダーに対して誓うこととしております。</p>
ちとせグループへの出資 MATSURI プロジェクトへの参画	<p>ちとせグループの統括会社である「CHITOSE BIO EVOLUTION PTE.LTD.」に出資し、ちとせグループが主導する「MATSURIプロジェクト」に参画いたしました。資源循環型ビジネスを重点分野のひとつと定め、カーボンニュートラルへの対応に取り組んでおり、ちとせグループへの出資を通じ、微細藻類によるカーボンリサイクル、微細藻類を使った新規事業開発等、同グループと協業して、新たな資源循環型ビジネスモデルの構築を目指します。</p>
稲垣商店との株式譲渡契約締結	<p>稲垣商店と、同社の非鉄金属卸売事業に関する権利義務を会社分割により承継させた「新・稲垣商店」の全株式を取得する株式譲渡契約を締結いたしました。稲垣商店が長年培ってきた少量多品種の調達・販売の卸売事業モデルを取込み、需要分野の情報を活用することで、より幅広い分野、業界及び地域への販売が可能となります。</p>
ベトナムにおける新会社設立	<p>神鋼商事メタルズはシンクスコーポレーションと共同で、ベトナム北部に「アルミ厚板の切断加工販売会社」を設立致しました。ベトナム北部はエレクトロニクス分野の大型投資が市場成長を牽引しており、今後は液晶・半導体、輸送機分野等の拡大も見込める地域です。またシンクスコーポレーションとの共同出資により同社の持つアルミ板加工における高い技術や効率的な在庫オペレーションノウハウにより競争力を強化し、市場での拡大を図ってまいります。</p>
ダイバーシティ推進活動報告	<p>当社は2022年10月に「ダイバーシティ推進プロジェクトチーム」を発足し、主に「女性活躍」と「グローバル人材活躍」の2つの分野に着目し、取り組みを進めております。「ダイバーシティ推進プロジェクトチーム」の活動内容の報告と参加者が自由に意見を交換することを目的に、大阪本社と東京本社にてランチタイムセッションを実施しました。社員参加型の活動は初めてでしたが、それぞれ自分の考えを話したり意見を聞いたりすることで、ダイバーシティへの理解を深めることができました。</p>

※各項目をクリック頂くと、当社HP掲載の詳細をご覧ください。

神鋼商事株式会社

(2023年9月末時点)

業 態	商 社
証 券 コ ー ド	東京証券取引所 プライム市場(8075)
住 所	【大阪本社】 大阪府大阪市中央区北浜二丁目6番18号(淀屋橋スクエア) 【東京本社】 東京都中央区京橋一丁目7番2号(ミュージアムタワー京橋)
創 業	1946年11月12日
連 結 子 会 社 数	39社
従 業 員 数	連結：1,501名 (内、平均臨時雇用者数 92名) 単体： 522名 (内、平均臨時雇用者数 58名)
単 元 株 式 数	100株
事 業 内 容	鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、情報産業、溶材各製品の売買及び輸出入

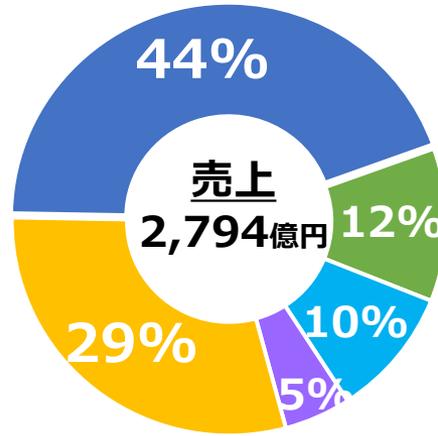


セグメント別事業概要

- 当社は、5つのセグメントで事業を展開
- EV/自動車軽量化、資源循環型ビジネスを重点実施分野とし成長を図る

鉄鋼

自動車向けを中心に鉄鋼製品を国内・北米・中国・東南アジアに供給
北米加工拠点の強化等、設備投資・事業投資を展開



非鉄金属

自動車・半導体・空調等へのアルミ・銅素材及び加工品の供給
スクラップ等のリサイクルビジネス及び国内外加工拠点の強化・新設



2023年度2Q数値

鉄鋼原料

鉄鉱石等、製鉄所向け原料を安定供給
バイオマス燃料、鉄スクラップ等の資源循環型ビジネスにも注力



機械・情報

産業機械や建機部品、電子情報関連製品まで幅広い製品を取扱う
メンテナンスや部品などのアフターサービスにも注力



溶材

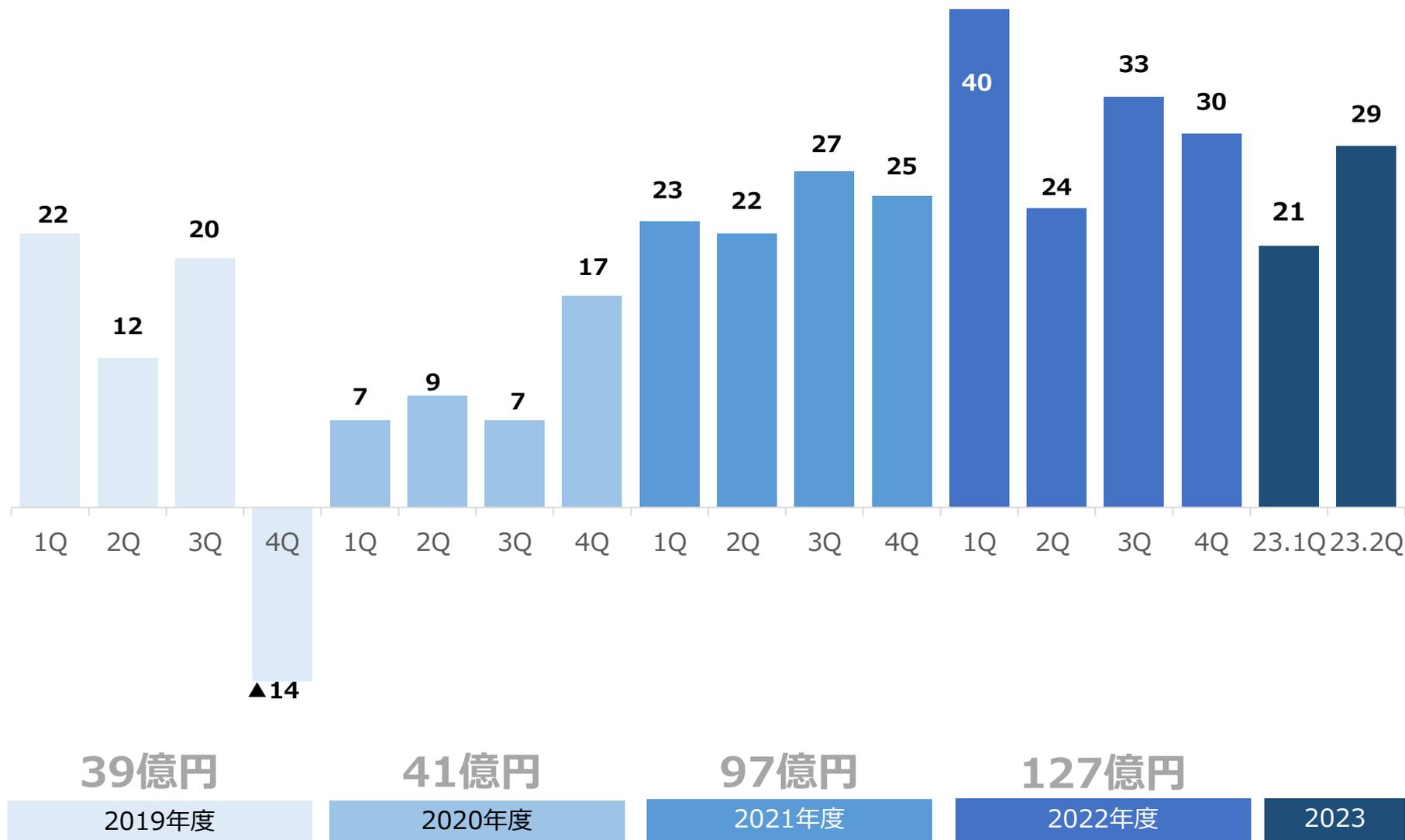
高品質・高シェアの溶接材料に溶接ロボット等を加えたトータルソリューションを提供



経常利益の推移（四半期ベース）

四半期別経常利益推移実績

(単位：億円)



企業理念

**私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。**

※本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。